

【五月の言葉（平成二十九年）】

世界でただ一人の自分をつくつていく責任

それが私にある。

私たちは、多くのいのちに支えられ、生かされて生きています。いろんな人に迷惑をかけ、傷つけながら生きています。多くの人に教えられ導かれて生きています。

しかし今、感謝することを忘れ、周囲に流され、煩惱のまま自我中心に生きていないでしょうか。

私は、これまでどんな人生の歩みをしてきたでしょうか。今の私は、今までの私がつくってきた「私」という作品です。これからはどんな作品をつくっていきますか。

うれしい時、悲しい時、悔しい時、いつでもそのまま支えてくださる仏さま。分けへだてなく、選ぶことなく、この私のいのちの根源となってくださっている仏さま。

これからは“感謝の思い”のこもった人生でありたいと思います。

『南無阿弥陀仏』